

杉岡 秀紀准教授の模擬授業

教育

シティズンシップ教育って何だろう？～18歳選挙権に伴う主権者教育～

講師:杉岡 秀紀

2015年6月に公職選挙法が改正され、これまで20歳以上であった選挙権が18歳以上に引き下げられました。そして、いよいよ2016年7月の参議院議員選挙から210万人の18～19歳有権者が誕生しました。選挙権年齢の引き下げは25歳以上から20歳以上に引き下げられた1945年以來の改正で実に約70年ぶりです。そんな中、注目を集めているのが今までは何もしないことにより中立性を担保してきた主権者教育、シティズンシップ教育のあり方です。

そこで、本模擬講義では、ここ数年、筆者が若者の投票率を向上させる取組みを行ってきた主権者教育のケーススタディとして紹介します。加えて、「政治的中立性」の意味を改めて問いつつ、その鍵は家庭や学校、地域の枠を越えた協働による「シティズンシップ教育」にあることを提起します。皆で一緒にシティズンシップ教育のあり方について考えましょう。

■ 受講人数の目安:50～100人

■ 所要時間の目安:60～90分

■ 高校でご準備いただきたいもの:プロジェクター、スクリーン

政治 経済

参議院は必要か？不要か？～福知山公立大学版白熱教室～

講師:杉岡 秀紀

地方創生の時代に一番関心を持って欲しいのは地方行政であり、地方政治です。ただ、皆さんは自分の住む(暮らす)地域の政治家(首長・議員)の名前を何人言えるでしょうか？おそらく出て来て1人か2人だと思います。

そこで、本模擬講義では、まずは政治・行政そのものに興味を持ってもらうべく、参議院議員を取り上げ、その要・不要を考えるとところから初めてみたいと思います。参議院をめぐるのは、「衆議院のカーボンコピー(もう一つの衆議院)」「参議院議員はタレント議員」などの言葉に象徴されるように、「参議院不要論(一院制)」も含め、昔からいろいろな議論があります。しかし、本当に参議院は不要なのでしょうか？そんなテーマを「白熱教室」スタイルで考えてみたいと思います。皆で一緒に身近な政治・行政について考えましょう。

■ 受講人数の目安:50～100人

■ 所要時間の目安:60～90分

■ 高校でご準備いただきたいもの:プロジェクター、スクリーン